

ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員

【部局名： 教育学部 】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員	教 育	授業科目の担当状況【学部】(全学教育科目含む)	1	【5:特に優れている】 学部教育科目(卒業研究関連科目を除く)、または全学教育科目を5コマ以上担当した。
				【4:水準を上回っている】 学部教育科目(卒業研究関連科目を除く)、または全学教育科目を3コマ以上担当した。
				【3:水準に達している】 学部教育科目(卒業研究関連科目を除く)、または全学教育科目を2コマ担当した。
				【2:改善の余地がある】 学部教育科目(卒業研究関連科目を除く)、または全学教育科目を1コマ担当した。
				【1:問題があり改善を要する】 学部教育科目も全学教育科目も担当しなかった。
		授業科目の担当状況【大学院】	1	【5:特に優れている】 授業科目を3コマ以上担当した。
				【4:水準を上回っている】 授業科目を2コマ担当した。
				【3:水準に達している】 授業科目を1コマ担当した。
				【2:改善の余地がある】 オムニバス形式の授業のみを担当した。
				【1:問題があり改善を要する】 授業科目を担当しなかった。
		卒業研究指導状況	0.3	【5:特に優れている】 卒業研究関連科目を担当し、さらに卒業研究の学生3名以上の指導教員となった。
				【4:水準を上回っている】 卒業研究関連科目を担当し、さらに卒業研究の学生2名の指導教員となった。
				【3:水準に達している】 卒業研究関連科目を担当し、さらに卒業研究の学生1名の指導教員となった。
				【2:改善の余地がある】 卒業研究関連科目を担当したが、卒業研究の学生の指導教員とならなかった。
				【1:問題があり改善を要する】 過去5年間、卒業研究の学生の指導を担当していない。
		博士課程前期研究指導状況	0.2	【5:特に優れている】 修士課程の学生を3名以上指導し、修士論文の成果として学会等において論文等が2件以上発表された。または、教職大学院の学生を3名以上指導した。
				【4:水準を上回っている】 修士課程の学生を2名以上指導し、修士論文の成果として学会等において論文等が1件以上発表された。または、教職大学院の学生を2名指導した。
				【3:水準に達している】 修士課程の学生を1名以上指導した。または、教職大学院の学生を1名指導した。
				【2:改善の余地がある】 修士課程の学生の指導を担当しなかった。
				【1:問題があり改善を要する】 過去5年間、修士課程の学生、または教職大学院の学生の指導を担当していない。

ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員

【部局名： 教育学部 】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員	教 育	博士課程後期研究指導状況	0.1	【5:特に優れている】 博士課程(連合大学院)の学生を主指導教員として1名以上指導し、博士論文の成果として単行書が1点以上刊行、または査読付き学術論文2点以上が公表された。
				【4:水準を上回っている】 博士課程(連合大学院)の学生を1名以上指導し、同時に博士論文の成果として査読付き学術論文が1点以上公表された。
				【3:水準に達している】 博士課程(連合大学院)の学生を1名以上指導した。
				【2:改善の余地がある】 博士課程(連合大学院)の学生の指導教員とならなかった。
				【1:問題があり改善を要する】 過去5年間、博士課程(連合大学院)の学生の指導を担当していない。
		留学生の受入状況	0.1	【5:特に優れている】 過去5年間で、留学生を3名以上受け入れた。
				【4:水準を上回っている】 過去5年間で、留学生を2名受け入れた。
				【3:水準に達している】 過去5年間で、留学生を1名受け入れた。
				【2:改善の余地がある】 過去5年間に、教員研修留学生等の留学生受け入れリストに登録していたことがある。
		教育方法の改善に関する取組状況	0.5	【5:特に優れている】 大学教育の方法・実践に関する発表・講演等を3件以上行った。または、担当授業科目の改善に関する取組を2件以上公表した。
				【4:水準を上回っている】 大学教育の方法・実践に関する発表・講演等を1件以上行った。または、担当授業科目の改善に関する取組を1件公表した。
				【3:水準に達している】 担当授業科目の改善に関する取組を3件以上行った。
				【2:改善の余地がある】 担当授業科目の改善に関する取組を1件以上行った。
		その他の教育活動	1	【1:問題があり改善を要する】 担当授業科目の改善に関する取組を何も行わなかった。
				【5:特に優れている】 上記の評価項目以外の教育活動において、昨年度特筆すべき活動を3件以上行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で3件以上あった。あるいは、両者の合計が3件以上あった。
				【4:水準を上回っている】 上記の評価項目以外の教育活動において、昨年度特筆すべき活動を2件行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で2件あった。あるいは、両者の合計が2件あった。
				【3:水準に達している】 上記の評価項目以外の教育活動において、昨年度特筆すべき活動を1件行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で1件あった。あるいは、昨年度、学校実習・教育実習に出向き、学生の指導を行った。
				【2:改善の余地がある】 上記の評価項目以外の教育活動において、昨年度特筆すべき活動を行わなかった。また、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動も過去5年間でなかった。さらに、昨年度、学校実習・教育実習に出向いたことはなかった。
				【1:問題があり改善を要する】 上記の評価項目以外の教育活動において、これまで特筆すべき活動を行っていない。また、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動もこれまで行っていない。さらに、過去5年間で、学校実習・教育実習に出向いたことはなかった。

ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員

【部局名： 教育学部 】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員	研 究	学術雑誌等の論文公表の状況	1	【5:特に優れている】
				過去5年間に学術論文等を5点以上公表している。
				【4:水準を上回っている】
				過去5年間に学術論文等を3点以上公表している。
				【3:水準に達している】
				過去5年間に学術論文等を2点公表している。
				【2:改善の余地がある】
				過去5年間に学術論文等を1点公表している。
		学術専門書等の執筆、編集の状況	1	【1:問題があり改善を要する】
				過去5年間に公表された学術論文等がない。
				【5:特に優れている】
				過去5年間に学術専門書(小・中学校、高校の検定教科書等、学校教育に関わるものを含む)等の執筆、編集に5点以上関わっている。または、過去5年間に単著の学術専門書が2冊以上ある。
				【4:水準を上回っている】
				過去5年間に学術専門書(小・中学校、高校の検定教科書等、学校教育に関わるものを含む)等の執筆、編集に3点以上関わっている。または、過去5年間に単著の学術専門書が1冊以上ある。
				【3:水準に達している】
				過去5年間に学術専門書(小・中学校、高校の検定教科書等、学校教育に関わるものを含む)等の執筆、編集に2点関わっている。
		解説、総説等の公表状況	0	【2:改善の余地がある】
				これまでに学術専門書(小・中学校、高校の検定教科書等、学校教育に関わるものを含む)等の執筆、編集に1点以上関わっている。
				【1:問題があり改善を要する】
				これまでに学術専門書(小・中学校、高校の検定教科書等、学校教育に関わるものを含む)等の執筆、編集に関わったことがない。
		建築、芸術、演奏、体育系分野等の活動状況	1	【5:特に優れている】
				過去5年間に研究発表(演奏・作品発表等)3回以上を行っている。
				【4:水準を上回っている】
				過去5年間に研究発表(演奏・作品発表等)2回以上を行っている。
				【3:水準に達している】
				過去5年間に研究発表(演奏・作品発表等)1回以上を行っている。
				【2:改善の余地がある】
				過去10年間に研究発表(演奏・作品発表等)1回以上を行っている。
		特許出願状況	0	【1:問題があり改善を要する】
				過去10年間に研究発表(演奏・作品発表等)を行っていない。
				【5:特に優れている】
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
				【2:改善の余地がある】
				【1:問題があり改善を要する】

ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員

【部局名： 教育学部 】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員	研 究	学術賞等の受賞の状況	0.2	【5:特に優れている】 これまでに国内外の学術団体等から学会賞、奨励賞等の受賞歴が3件以上ある。
				【4:水準を上回っている】 これまでに国内外の学術団体等から学会賞、奨励賞等の受賞歴が2件ある。
				【3:水準に達している】 これまでに国内外の学術団体等から学会賞、奨励賞等の受賞歴が1件ある。
				【2:改善の余地がある】 過去5年間に、国内外の学術団体等において、受賞はないが学会賞等への申請を1件以上行っている。
				【1:問題があり改善を要する】 これまでに国内外の学術団体等からの受賞はなく、公募等への申請も行っていない。
		学会発表、講演等の状況	0.5	【5:特に優れている】 過去5年間に国内外の学術団体等において、研究発表や講演等を10件以上行っている
				【4:水準を上回っている】 過去5年間に国内外の学術団体等において、研究発表や講演等を5回以上行っている。
				【3:水準に達している】 過去5年間に国内外の学術団体等において、研究発表や講演等を3回以上行っている。
				【2:改善の余地がある】 過去5年間に国内外の学術団体等において、研究発表や講演等を1回以上行っている。
				【1:問題があり改善を要する】 過去5年間に国内外の学術団体等において、研究発表や講演等を行っていない。
		学術調査、研究報告等の活動状況	0.5	【5:特に優れている】 過去5年間で国内外の学術調査等を行い、その調査報告や研究報告等が5点以上ある。
				【4:水準を上回っている】 過去5年間で国内外の学術調査等を行い、その調査報告や研究報告等が3点以上ある。
				【3:水準に達している】 過去5年間で国内外の学術調査等を行い、その調査報告や研究報告等が2点ある。
				【2:改善の余地がある】 過去5年間で国内外の学術調査等を行い、その調査報告や研究報告等が1点ある。
				【1:問題があり改善を要する】 過去5年間に国内外の学術調査等を行っていない。
		科学研究費の申請、獲得状況	1	【5:特に優れている】 過去5年間で研究代表者として科研費の申請(継続課題を含む)を5件以上行っており、その5年間に研究代表者として3件以上採択されたことがある。
				【4:水準を上回っている】 過去5年間で研究代表者として科研費の申請(継続課題を含む)を5件以上行っており、その5年間に研究代表者として2件採択されたことがある。
				【3:水準に達している】 過去5年間で研究代表者として科研費の申請(継続課題を含む)を5件以上行っており、その5年間に研究代表者として1件採択されたことがある。
				【2:改善の余地がある】 過去5年間で科研費の申請を行っているが、採択されたことがない。
				【1:問題があり改善を要する】 過去5年間で科研費の申請を行っていない。

ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員

【部局名： 教育学部 】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員	研 究	共同研究、受託研究、その他外部資金の獲得状況	0.6	【5:特に優れている】 過去5年間に共同研究、受託研究、その他外部資金を3件以上獲得した実績がある。
				【4:水準を上回っている】 過去5年間に共同研究、受託研究、その他外部資金を2件獲得した実績がある。
				【3:水準に達している】 過去5年間に共同研究、受託研究、その他外部資金を1件獲得した実績がある。
				【2:改善の余地がある】 過去5年間に、共同研究、受託研究、その他外部資金を得たことがない。
				【1:問題があり改善を要する】 これまでに、共同研究、受託研究、その他外部資金を得たことがない。
				【5:特に優れている】 上記の評価項目以外の研究活動において、昨年度特筆すべき活動を3件以上行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で3件以上あった。あるいは、両者の合計が3件以上あった。
		その他の研究活動	1	【4:水準を上回っている】 上記の評価項目以外の研究活動において、昨年度特筆すべき活動を2件行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で2件あった。あるいは、両者の合計が2件あった。
				【3:水準に達している】 上記の評価項目以外の研究活動において、昨年度特筆すべき活動を1件行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で1件あった。
				【2:改善の余地がある】 上記の評価項目以外の研究活動において、昨年度特筆すべき活動を行わなかった。また、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動も過去5年間でなかった。
				【1:問題があり改善を要する】 上記の評価項目以外の研究活動において、これまで特筆すべき活動を行ったことがない。また、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動もこれまで行ったことがない。

ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員

【部局名： 教育学部 】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員	社会貢献	国、地方公共団体での活動状況	0.5	【5:特に優れている】 過去5年間で、国、地方公共団体における審議会・委員会等において、委員長や副委員長など重要な役割を担った。または、国、地方公共団体との関わりの中で特筆すべき活動を行った。
				【4:水準を上回っている】 過去5年間で、国、地方公共団体における審議会・委員会等において、委員を2件以上担った。
				【3:水準に達している】 過去5年間で、国、地方公共団体における審議会・委員会等において、委員を1件担った。または、国、地方公共団体が開催する行事・会合等に1回以上参加した。
		学会等の学術団体での活動状況	0.5	【2:改善の余地がある】 過去5年間で、国、地方公共団体における審議会・委員会等に関係したことが一度もない。かつ、国、地方公共団体が開催する行事・会合等に参加したことが一度もない。
				【1:問題があり改善を要する】 これまで、国、地方公共団体における審議会・委員会等に関係したことが一度もない。かつ、国、地方公共団体が開催する行事・会合等に参加したことが一度もない。
				【5:特に優れている】 過去5年間で学会等の学術団体で会長や理事、評議員、編集委員長などの重要な役職を担った。または、学会等の学術団体が主催する大会等の取り纏め役(実行委員長等)を担った。
		公開講座、生涯学習教育に関する活動状況	1	【4:水準を上回っている】 過去5年間で学会等の学術団体で編集委員、査読委員など、団体の運営に関連する役割を2件以上担った。
				【3:水準に達している】 過去5年間で学会等の学術団体で編集委員や大会実行委員、査読委員などの役割を1件担った。または、所属する学術団体の会合に積極的に参加し、協力している。
				【2:改善の余地がある】 過去5年間で学会等の学術団体の会員以外の役割を担っていない。
		公開講座、生涯学習教育に関する活動状況	1	【1:問題があり改善を要する】 過去5年間、学会等の学術団体に一つも所属していない。
				【5:特に優れている】 過去5年間で社会人を対象とした公開講座や生涯学習教育などの講師を5件以上担当した。または、免許状更新講習や認定講習などの教員免許に関わる講座で講師を5件以上担当した。
				【4:水準を上回っている】 過去5年間で社会人を対象とした公開講座や生涯学習教育などの講師を3件以上担当した。または、免許状更新講習や認定講習などの教員免許に関わる講座で講師を3件以上担当した。
		公開講座、生涯学習教育に関する活動状況	1	【3:水準に達している】 過去5年間で社会人を対象とした公開講座や生涯学習教育などの講師を2件担当した。または、免許状更新講習や認定講習などの教員免許に関わる講座で講師を2件担当した。
				【2:改善の余地がある】 過去5年間で社会人を対象とした公開講座や生涯学習教育などの講師を1件担当した。または、免許状更新講習や認定講習などの教員免許に関わる講座で講師を1件担当した。
				【1:問題があり改善を要する】 過去5年間で社会人を対象とした公開講座や生涯学習教育などの講座、免許状更新講習や認定講習などの教員免許に関わる講座のいずれも担当していない。

ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員

【部局名： 教育学部 】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員	社会貢献	産学連携活動(技術移転、技術相談等)の状況	0.1	【5:特に優れている】 過去5年間で、民間企業やNPO等から、専門的な技術に関する相談等を受け、指導・助言などをしたことが3件以上ある。 【4:水準を上回っている】 過去5年間で、民間企業やNPO等から、専門的な技術に関する相談等を受け、指導・助言などをしたことが2件ある。 【3:水準に達している】 過去5年間で、民間企業やNPO等から、専門的な技術に関する相談等を受け、指導・助言などをしたことが1件ある。 【2:改善の余地がある】 過去5年間で、民間企業やNPO等から、専門的な技術に関する相談等を受け、指導・助言などをしたことがない。 【1:問題があり改善を要する】 これまで、民間企業やNPO等から、専門的な技術に関する相談等を受けたことが一度もない。
		国際共同研究に関する活動状況	0.1	【5:特に優れている】 過去5年間で、国際共同研究に関わる活動を3件以上実施した。 【4:水準を上回っている】 過去5年間で、国際共同研究に関わる活動を2件実施した。 【3:水準に達している】 過去5年間で、国際共同研究に関わる活動を1件実施した。 【2:改善の余地がある】 過去5年間で、国際共同研究に関わる活動を行っていない。 【1:問題があり改善を要する】 これまで、国際共同研究に関わる活動を一度も行ったことがない。
		海外活動支援の状況	0.1	【5:特に優れている】 過去5年間で、海外活動支援に関わる活動を3件以上実施した。 【4:水準を上回っている】 過去5年間で、海外活動支援に関わる活動を2件実施した。 【3:水準に達している】 過去5年間で、海外活動支援に関わる活動を1件実施した。 【2:改善の余地がある】 過去5年間で、海外活動支援に関わる活動を行っていない。 【1:問題があり改善を要する】 これまで、海外活動支援に関わる活動を一度も行ったことがない。
		地域連携活動の状況	1	【5:特に優れている】 過去5年間で、国や地方公共団体の教員研修の講師や小・中・高校生を対象とした講座の講師等、地域連携活動を5件以上行った。または、地域連携活動において特筆すべき活動を実施した。 【4:水準を上回っている】 過去5年間で、国や地方公共団体の教員研修の講師や小・中・高校生を対象とした講座の講師等、地域連携活動を3件以上担当した。 【3:水準に達している】 過去5年間で、国や地方公共団体の教員研修の講師や小・中・高校生を対象とした講座の講師等、地域連携活動を2件担当した。 【2:改善の余地がある】 過去5年間で、国や地方公共団体の教員研修の講師や小・中・高校生を対象とした講座の講師等、地域連携活動を1件担当した。 【1:問題があり改善を要する】 過去5年間で、国や地方公共団体の教員研修の講師や小・中・高校生を対象とした講座の講師等、地域連携活動を担当したことがない。

ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員

【部局名： 教育学部 】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員	社会貢献	その他の社会貢献活動	1	【5:特に優れている】 上記の評価項目以外の社会貢献活動において、昨年度特筆すべき活動を3件以上行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で3件以上あった。あるいは、両者の合計が3件以上あった。
				【4:水準を上回っている】 上記の評価項目以外の社会貢献活動において、昨年度特筆すべき活動を2件行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で2件あった。あるいは、両者の合計が2件あった。
				【3:水準に達している】 上記の評価項目以外の社会貢献活動において、昨年度特筆すべき活動を1件行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で1件あった。
				【2:改善の余地がある】 上記の評価項目以外の社会貢献活動において、昨年度特筆すべき活動を行わなかった。また、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動も過去5年間でなかった。
				【1:問題があり改善を要する】 上記の評価項目以外の社会貢献活動において、これまで特筆すべき活動を行ったことがない。また、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動もこれまで行ったことがない。

ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員

【部局名： 教育学部 】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員	管理運営	学内の管理運営組織での活動状況	1	【5:特に優れている】 過去5年間で、学部長、評議員、学長補佐、専攻長、課程長、副学部長など大学、学部、研究科における重要な役割を担った。または、附属学校長、附属学校部長など、附属学校の運営に関わる役割を担った。
				【4:水準を上回っている】 過去5年間で、コース代表(旧講座代表)、グループ代表、部会長・委員長や全学のWG委員などを担った。または、部会・委員会の委員や学部・大学院のWGの委員を3件以上担った。
				【3:水準に達している】 過去5年間で、部会・委員会の委員や学部・大学院のWGの委員を1件以上担った。
				【2:改善の余地がある】 過去5年間で、部会・委員会の委員や学部・大学院のWGの委員を担っていない。
				【1:問題があり改善を要する】 これまで、業務運営上の役割を全く担っていない。
		入試業務に係わる活動状況	1	【5:特に優れている】 過去5年間で入試部会長(旧入試委員長)、入試の作問委員長や各選抜の実施主担当者(旧実施委員長)など入試業務の取り纏め役を担った。または、大学院、学部の入試において特筆すべき役割を担った。
				【4:水準を上回っている】 過去5年間で入試の作問委員や入試部会委員(旧実施委員)などを担った。
		入学・進学志願者増加に係わる活動状況	1	【3:水準に達している】 過去5年間で入試の採点委員、面接委員、試験監督などを担った。
				【2:改善の余地がある】 過去5年間で入試の作問、採点、面接、監督に関わっていない。
				【1:問題があり改善を要する】 これまで入試の作問、採点、面接、監督に一切関わっていない。
				【5:特に優れている】 過去5年間で学外における大学院または学部の入試広報につながる活動(出張入試説明等)を担ったり、学内における大学院説明会、高校生授業等体験プログラムや高校との連携講座、オープンキャンパスなど入試広報に関わる行事の取り纏め役を担った。または、大学院および学部における入試広報において特筆すべき役割を担った。
				【4:水準を上回っている】 過去5年間で大学院および学部の受験者層を対象とした講座(公開講座、高校生授業等体験プログラムやオープンキャンパスでの模擬講座、高校との連携講座など)で講師を担当した。
				【3:水準に達している】 過去5年間で大学院や学部の入試説明会やオープンキャンパスなどの運営に関わったり、相談窓口を担当した。
				【2:改善の余地がある】 過去5年間で大学院や学部の入試説明会、オープンキャンパスや公開講座、高校との連携講座等、入試広報に関連する業務にほとんど関わっていない。
				【1:問題があり改善を要する】 これまで、入試広報に関わる業務を担ったことがない。

ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員

【部局名： 教育学部 】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
ユニットC 「教科に関する専門的事項」に関する科目を主に担当し、芸術・実技系の教員		就職支援、課外活動支援に係わる活動状況	1	【5:特に優れている】 過去5年間で就職支援委員長(現教職部会就職支援班班長)や地域連携運営委員長(旧学外活動支援委員長)など就職支援や課外活動支援に関わる委員会等の取り纏め役を担った。または、就職支援、課外活動支援において特筆すべき役割を担った。
				【4:水準を上回っている】 過去5年間で就職支援や課外活動に関わる委員を担った。または、就職支援対策講座などの講師を1回以上担当した。
				【3:水準に達している】 過去5年間で教員採用試験や課外活動に関する学生の相談に対応したり、学外における課外活動に出向き、学生の指導を行った。
				【2:改善の余地がある】 過去5年間で学生の就職支援や課外活動支援にほとんど関わっていない。
				【1:問題があり改善を要する】 これまで、学生の就職支援や課外活動支援に関わったことがない。
	管理運営	その他の管理運営業務	1	【5:特に優れている】 上記の評価項目以外の管理運営業務において、昨年度特筆すべき活動を3件以上行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で3件以上あった。あるいは、両者の合計が3件以上あった。
				【4:水準を上回っている】 上記の評価項目以外の管理運営業務において、昨年度特筆すべき活動を2件行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で2件あった。あるいは、両者の合計が2件あった。
				【3:水準に達している】 上記の評価項目以外の管理運営業務において、昨年度特筆すべき活動を1件行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で1件あった。
				【2:改善の余地がある】 上記の評価項目以外の管理運営業務において、昨年度特筆すべき活動を行わなかった。また、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動も過去5年間でなかった。
				【1:問題があり改善を要する】 上記の評価項目以外の管理運営業務において、これまで特筆すべき活動を行ったことがない。また、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動もこれまで行ったことがない。

※評価項目は全学業績評価委員会の承認を得れば追加できます。追加を希望する場合は朱書きで評価項目を記載し、全学業績評価委員会に提出ください。